

秋田市教育委員会 会 議 録

平成 2 6 年 1 月定例会

秋田市教育委員会平成26年1月定例会会議録

- 1 日 時 平成26年1月23日(木)
午後3時30分～午後5時00分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長
教育委員(委員長職務代行者)
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
スポーツ振興課長
文化振興室長
中央図書館明德館副館長
千秋美術館副館長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
教育研究所主席主査
生涯学習室主席主査
総務課主査
総務課主査
総務課主査
総務課主事

5 議 題

【協議事項】

- (1) 平成26年度当初予算（案）に関する件について

【教育長等の報告】

- (1) 平成25年度「新成人のつどい」の結果について
- (2) 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の調査結果について

6 議 事 午後3時30分開会

【再任委員のあいさつ】

委員に再任となった委員からあいさつがなされた。

【平成25年12月定例会会議録の承認】

平成25年12月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【協議事項】

【非公開の議決】

委員長 協議事項(1) 「平成26年度当初予算（案）に関する件」については、今後議会に提出され、審議される案件と聞いている。よって、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがあるので、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【教育長等の報告】

(1) 平成25年度「新成人のつどい」の結果について

生涯学習室長補佐 （資料に基づき説明）

委員 参加状況について、減少したという報告があったが、資料の数値を見ると女性の減少が大きい。何か理由は考えられるか。

式典全体を通して、簡略化が進んでいる点は、良かったと思う。

今年は、運営協力委員の方達が、昨年と比べて前面にあまり出てこなかった。新成人の抱負を述べるところだけだったので、もう少し活躍する場があってもいいと思う。式典は、想定時間より5分ほど早く終わっていたので、簡略化は大変結構だが、工夫する点はまだあるのではないか。

シャトルバスについては、それなりの効果があった。今後も継続していくことで、利用者の増加が見込まれる面があると思う。色々と制約があるとは思いますが、今回は発車場所を秋田駅東口に変更するなど工夫しており、今後も工夫しながら進めていきたい。

生涯学習室長補佐 女性の減少については、当日の天候にも左右される面はあるが、女性の場合は、着付け等の予約状況もあると思うので、ある程度は最初から出席しないこととしていたことも考えられる。

シャトルバスについては、市役所の乗り降りが少なく、一桁の人数だったので、来年は秋田駅の便を増やすなど、工夫したいと考えている。

式典については、今年の運営協力委員は、例年より大人しかったように思う。運営協力委員会の際も、委員が遠慮していたので、今後は職員のアドバイスの仕方も含

め進め方を工夫したい。

委員

非常に静かな式典で、マナーがとても良く本当に驚いた。特に新成人の抱負では、内容を全部暗記し、話している姿勢が新成人の方達に訴えかけたものがあったと思う。また、人はそういう点に感動するのだと改めて思った。話の中で、家を離れて秋田の良さが非常によく分かったというところがあったが、新成人がその話に大変共感したのか、そのあとは、場内が急に静かになった。本当に良い抱負を聞かせてもらい、とても感動した式典だった。

アトラクションの合唱については、最初はざわついてしたが、最後は皆が歌っていたので、とても良かった。歌詞がこれから未来に向かって歩いて行こうという前向きな歌なので、新成人にふさわしい良い歌だと思う。この歌は、子どもの時から歌ってきた歌であり、できれば来年、再来年も歌い継がれば良いと思うが、もう少し盛り上げるための工夫をしてもらいたい。式典当日は、秋田ノーザンハピネッツは試合で無理かもしれないが、秋田大学のチアダンスチームの方などに協力を依頼できれば、もっと盛り上がったのではないかと思う。

委員

シャトルバスの利用状況を見ると、ほとんどが秋田駅からであり、今年から秋田駅発着に変更したことは非常に効果があったのではないかと思う。会場行きの人数が対昨年度実績51人増となった点は、案内状などに記載した効果が表れた印象を持っている。今後もさらに周知方法について工夫し、会場にたどり着きやすく、帰りやすいようにすることを心掛けてほしい。

委員長

今回は、昨年度より1時間早い午前11時開場であったが、良かったと思う。式典が始まる頃には、ほとんどの人が着席し、落ち着いて待つという場内の態勢になっていた。自分の席に座る前に話したい人と話したことに

より、式典を待つという状態になっていたのではないかと。
アンケート調査結果の式典の印象、参加マナーについて、
良かったというポイントが非常に上がっている点を見て
も、良い新成人のつどいできていたと思う。新成人の
つどいは、様々な工夫ができる余地もあるが、それを改
善してもらい、来年また一層良い新成人のつどいでき
ればと思う。

(2) 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の調
査結果について

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 この調査については、各学校単位でそれぞれの校舎で
行うのか、それとも、八橋陸上競技場等を利用して各学
校が行うのか教えてほしい。

しつかい
悉皆調査が4年ぶりという話だったが、4年前と比べ
た場合、同じような傾向になっているのかどうか。また、
運動能力全般として、高いレベルで維持していればいい
が、浮き沈みが出てきたりしているのか教えてほしい。

教育研究所主席主査 調査の実施場所については、学校の体育館やグラウン
ドを使用し、各校で実施している。

調査の開始年度は平成20年度だが、平成23年度は
東日本大震災のために実施していない。平成20年度か
らの年度と比較すると、体力合計点においては、いずれ
も全国平均を上回っている。中2女子は、平成22年度
と24年度は全国平均を下回ったが、今年度は全国平均
を上回っている。種目別で見ると、小学生は男女ともに
50メートル走が平成20年度から引き続き全国平均を
下回っている。中学生はハンドボール投げが平成20年
度から引き続き下回っている状況にある。その他につい
ては、概ね全国平均を上回っている状況である。したが

って、全国と本市の体力を比較した場合、全国水準をやや上回っている状態で推移しているところである。

委員

ソフトボール投げや、ハンドボール投げなどの投げる力が弱いようだが、それは体育の授業の中でも鍛える術はあるのか。全国的にも投げる力が昔から比べて劣ってきたと言われている。体格や筋肉など発達の違いはあると思うが、心当たりがあれば教えてほしい。

教育研究所主席主査 小学校では、グラウンドから木に紐を結び付け、筒状のものを投げるといった遊びの中で投力を高める取組を何校かで行っている。授業では、バスケット、バレーなどの球技で投運動を高める準備運動などを学校で行っている。本市の場合、投力が若干低いが、学習指導要領の中で投力だけを年間通じて行うわけにはいかないため、種目の特性に応じた準備運動の工夫という方法で、取り組んでいるところである。

委員

投げる動作や投げる競技よりも、筋力トレーニングを実施することまでは必要ないが、それを使う筋肉を鍛えたほうがいいのではないか。全国平均と比較して投力だけ引き続き低いということは、秋田市の児童の場合、食生活などを含めて、根本的な原因があるのではないかと考えている。

委員

資料2 ページの4の本市調査結果の概要で、「全国平均に比較して下回っている状況にあり、前年度に引き続き、小学生の瞬発力（走力）、中学生の瞬発力（走力）」というように記載されている。前年度に引き続きということは、何が原因であったと考えられるか。

教育研究所主席主査 投げ方や走り方について特別な調査はしていないが、小中学校の教諭と教頭からなる体育学習指導推進委員会で、原因を調査したり、実践例を紹介する冊子を作成し、毎年、体育の授業や業間運動などで活用してもらっている。これまでは、体力全般を対象にした冊子だったが、

ここ数年は、走力、投力が下回っている状況が続いているため、走力、投力に特化した取組をまとめている。

委員

まとめている中には、どのように原因が記載されているのか。

教育研究所主席主査

今年度は、調査中であるが、昨年度は、走るフォームからしっかりと教える必要があると記載している。投げる方に関しても、年齢が低いと右利きの子は右手と右足を一緒に出したりするなどというところがあるので、フォームをしっかりと教えていく必要があるとしている。経験値がものをいうところもあるので、繰り返し指導し、子どもたちにたくさんの経験を積ませることが重要であると分析している。

委員長

資料中のグラフを見ると、運動部やスポーツクラブに所属している子どもの割合、あるいは、ほとんど毎日運動、スポーツをしている子どもの割合が、全国と比べて多い中で、走力と投力については、今年だけではなく引き続き低迷しているので、身に付いていないと解釈して良いと思う。それでも十数年前からと比べると、秋田の子どもの体力、運動能力が随分高まり、良い結果が出るようになってきているので、うれしく思っている。学校訪問に行っても、例えば歩いて学校に行こうということをやっているという学校経営説明をされることがあり、そのことを意識してやっていることはうれしく思う。特に小学校の統廃合に伴うスクールバスの通学により、子どもたちは歩く機会が少なくなっている。秋田の子どもだけではないと思うが、運動部やスポーツクラブではなく、日常生活の中で汗を流して歩いたり、走り回ったりするという経験が少なくなっている中で、そのような運動を意識して、例えばスクールバスも校門までではなく、学校から少しと離れたところで子どもたちを降ろして歩かせているという説明を聞くと、とてもうれ

しく思う。

体力、運動能力が全国平均と比べて低かった時代から、秋田の子どもは身長や体重の発育状況はずっと全国のトップレベルであった。体格は立派だが、その中身である体力、運動能力が伴っていないことが非常に問題だと思っていたが、ここまで回復し、身に備わってきたことはうれしい。しかし、運動する機会が体育の授業時のみという子どもたちもいると考えると、今後の取組としての体育学習の改善はもっと進めてほしい。疲れを知らずに動き回り、体を動かしている5歳位の時期が有酸素的な能力や持久力が非常に刺激されて高まっていく。その段階にある子どもたちが継続していくと、刺激された能力が思春期になって結果に出ると研究している東京大学の小林寛道先生という方もいる。走る能力は、運動能力の発達に非常に相関関係が高いという話があるので、投げる力や、特に走る力については、体育の授業や業間運動などでもっと意図的にやっていけば、体力、運動能力が気力、精神力にも繋がり、健やかな子どもたちがより一層育っていくのではないかと思う。そこのポイントをしっかり現場に伝え、学校が取り組むようにしてほしいと思う。

【その他、事務局から】

(1) 本市のいじめ防止基本方針について

学校教育課長

本市の取組については、昨年11月の定例会において報告していたが、現在までの進捗状況を報告する。

今月8日には、秋田市いじめ防止基本方針の暫定案を基に、全ての市立学校を対象に説明会を開催して、各校に対し、学校いじめ防止基本方針の策定をお願いしているところである。また、21日には、秋田市いじめ対策

委員会を開催して、本市の基本方針について協議を行い、意見や提言をいただいた。現在その意見を基に修正作業を行っており、今月末には修正案を対策委員に送付し、改めて意見等をいただくことにしている。教育委員には、いじめ対策委員に修正案を送付する時に合わせて基本方針案を届けるので、2月定例会において審議いただきたいと考えている。

(2) 2月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 (2月の行事予定について、資料に基づき報告)

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会2月定例会は、2月12日(水)午後3時30分からを予定している。

【協議事項】

(1) 平成26年度当初予算(案)に関する件について

(協議事項(1)は、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第23条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後5時00分閉会

以 上